

温暖化防止への貢献

環境保全に取り組む企業

竹資源を有効活用

竹林荒廃問題および竹林異常増殖問題を防ぐ「竹資源有効活用プロジェクト」を進めている(株)ソフトウェアは、竹資源の有効活用を図る竹ソダロール(柵工用・暗渠用)と竹ソダパネルを開発。18年度に、県トライアル発注製品にも採用され高い評価を受け、「竹文化」の発信を続けている。

竹ソダロールは、竹ソダを円筒状にして利用。柵工用は、従来の木製柵工と比較すると透水性と適度な腐食性に優れているため自然な植生の回復が期待できる。

暗渠工用は、塩化ビニール管と同等の効果がある。家庭用として花かごの立柱と吊り、置きタイプも開発した。

竹ソダパネルは、竹枝を利用して防風、防砂柵用にパネル化。現場の作業性に優れ、自然素材のため環境保全にも一役買う。同パネルは、鹿児島市のマリポートかごしまの北側に設置されている。

同社では、竹資源の有効活用を図り、地場産業の育成と地域の環境整備が一体化した新しい地域の取り組みを進めている。

その結果、竹害のない優良な里山の再生を図り、豊かな自然環境を提供。鹿児島県(薩摩)からモウソウチクが広がったように、その新しい活用方法を、全国へ情報発信している。

問い合わせは、(株)ソフトウェア(鹿児島市常盤2丁目14-7 ☎099・284・8212)まで。



ソフトウェア

竹ソダロール・パネルを開発